

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 横川紀夫  
 ( J A S D A Q コード番号 7918 )

問い合わせ先

役職・氏名 常務取締役 正部一行  
 電 話 番 号 03-5155-6801

ヴィア・グループ中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、平成 15 年 4 月に純粋持株会社体制に移行するとともに、社名を株式会社ヴィア・ホールディングスに変更しました。以来、外食サービス事業および印刷流通事業の各セグメント別に子会社を設立し、効率的かつ効果的な運営を推進してまいりました。今期においては、昨年の 10 月 4 日に株式会社一源の株式を取得するとともに、去る 2 月 15 日には完全子会社である(株)NBKが、セラヴィリゾート株式会社より居酒屋業態「北の家族」をはじめとするレストラン事業の譲受をいたしました。以上のように当社グループは、M & Aによる事業の拡大と既存事業の推進による成長戦略を積極に行ってまいりました。こうしたなか、M & Aにより拡大した事業と既存事業の相乗効果をより追求し、組織の再編も加え、企業価値のさらなる増大を実現するためのロードマップとして、当社グループの中期経営計画の策定を進めてまいりました。

このたび、当社は平成 23 年 3 月期を最終期とする新たな「ヴィア・グループ中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 計画名称: ヴィア・グループ中期経営計画
2. 計画期間: 平成 21 年 3 月期から平成 23 年 3 月期までの 3 期
3. 数値目標

このたびの中期経営計画において 3 年後の平成 23 年 3 月期には、売上高 555 億円(当期予想比 159.8%)、営業利益 43 億円(当期予想比 1,075%)、経常利益 39 億円(当期予想比 1,258%)、当期純利益 20 億円(当期予想比 + 28 億円)の達成を目標といたしております。

数値目標(連結)

(単位: 百万円)

	平成 21 年 3 月期	平成 22 年 3 月期	平成 23 年 3 月期
売 上 高	49,300	52,500	55,500
営 業 利 益	1,900	3,100	4,300
経 常 利 益	1,600	2,700	3,900
当 期 純 利 益	300	1,100	2,000

#### 4. 基本となる経営戦略の方針

当社は、衣食住遊知を事業領域とするライフスタイル創生企業を目指しておりますが、本中期経営計画においては、特に「食」にあたる外食サービス事業と「知」にあたる印刷流通事業をメインのドメインとし、再生と成長に特化した経営戦略を推進してまいります。その理由は、当社グループのバリューアップノウハウをフルに活用できる二つのドメインに経営資源を集中することにより、企業価値を大幅に高めていくことが可能になると判断いたしました。より難しい経営環境のなか、当社グループはこの中期経営計画における3年間で「ヴィア・グループの新たな飛躍に向けた足場固めと成長期間」と位置づけ、確実な利益成長による中長期的に安定したさらなる成長を実現してまいります。

ヴィア・グループ中期経営計画の基本となる経営戦略は以下のとおりです。

##### (1) 既存事業の再生と拡大

外食サービス事業の既存業態については、立地特性に応じたコンセプトの再設計を行うとともに顧客の価値観にマッチした商品政策の導入を進めてまいります。また、覆面モニター制度を通じて顧客のニーズをタイムリーにつかむことで、より顧客満足の実現に向けたサービスの表現と商品のレベルアップを図ってまいります。店舗運営のマネジメントについては、従業員一人ひとりに対する教育の充実と技術の研鑽を通じ、従業員満足(ES)を向上させるとともに、労働生産性の向上を進めてまいります。商品政策については、各社の自由度を残しつつ、グループ全体でのスケールメリットを活かした食材原価の維持・低減を行ってまいります。出店戦略については、各社別に出店の投資回収基準を設定し、より効果的かつ効率的な出店を慎重に行ってまいります。

また、印刷流通事業については、既存の印刷事業を中心にデジタル事業やセールスプロモーションの企画といった業際事業の高収益化を目指し、シナジー効果も加えた統廃合も視野に入れ確実な利益水準の確保と安定的な成長を目指します。

##### (2) M & Aにより新規に取得した事業のバリューアップと再編

株式会社一源の食彩屋「一源」業態については、業態の磨きこみを行うとともに、店舗マネジメントの効率化を進めてまいります。また、商品についても立地特性に応じたメニューバリエーションを設定し、顧客のニーズの深堀を進めてまいります。また、セラヴィリゾート株式会社より「北の家族」業態と「エンターテイメントレストラン」業態を譲受しましたが、「北の家族」業態については個室を強みとした和風居酒屋というコンセプトを磨きこむとともに、グループのスケールメリットを活かし、商品の品質向上をはかりつつ原価低減を目指します。「エンターテイメントレストラン」業態については、顧客の体験価値を図るため、コンセプトのブラッシュアップのみならず、新コンセプトへの挑戦を進めてまいります。

##### (3) 内部統制の強化によるガバナンス体制の確立およびコンプライアンスの遵守

偽りのない情報の公開や安心・安全の確保、環境保護への配慮など、確固とした企業倫理を確立し、社会の一員としての責務を果たしてまいります。そのために内部統制の強化に積極的に取り組み、オープンで公正な企業カルチャーの構築を目指してまいります。具体的には、各社に分散している事務管理部門を内部統制の観点から統合し、業務プロセスとマネジメントの改善を進めると同時に、内部牽制機能の強化を図ってまいります。また、グループ食品衛生委員会を立ち上げ、グループ共通の安全基準を策定し、食材および店舗の状態についてもモニタリング機能を強化してまいります。

## 5. 利益還元方針

株主の皆さまへの利益還元方針については、安定的な成長のための内部留保とのバランスを踏まえるとともに、積極的に次のような利益還元を行ってまいります。

- (1) 安定的な配当の実施
- (2) 一株当たり当期純利益の増加
- (3) 株主優待制度の充実

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上